

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな人の育成

感謝をこめて

校長 田口幸久

弥生3月、春の訪れとともに、令和4年度もあとひと月となりました。

2月の初旬、「特別支援教育児童・生徒による作品展」が尾間木公民館で行われ、本校からも6組学級10人の児童が絵や工作を出品。他にも緑区の小中学校13校の作品が集まりました。型にはまらず伸びやかで、一つ一つに個性がありました。様々な経験やふれあいの中で、みんながゆっくり大きく成長してきたのだと思います。今、校内の廊下や踊り場にも、子どもたちの絵や卒業へ向けての学年の制作物が掲示されています。それぞれが輝いて、温かい言葉が素敵です。



「子どもは誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかである」とは、ピカソの言葉。上手も下手もなく、人と比べるのではなく、一人一人が、思い思いに表現している「ありのまま」にこそ、価値があるのだと感じました。

2月は、お世話になった方々へ「感謝」を伝える行事もありました。14日は、交通指導員さんや防犯ボランティアさんを招き、テレビ放送での「感謝の会」。児童会長からのお礼の言葉、1年生が感謝状と下校時は手作りの金メダルをお渡ししました。24日は、5年生が中心で企画、運営を行った「6年生を送る会」。各学年が工夫をこらした歌や演奏をビデオ上映。各学年、今まで中尾小を牽引してくれた6年生への感謝の思いに溢れ、心が温かくなりました。3月22日の卒業式では、6年生139名がいよいよ中尾小を巣立ちます！

ところで、毎年この時期は、進学・進級や環境が変わることに不安を感じたり、自分に自信をなくしたりしている子どもも少なく見受けられます。でも、中尾っ子たちは優しく、健やかに成長を続けています。先生方も、子どもたちに励ましの言葉を送り、よりよい力をつけるために教師としての技を磨いて奮闘しています。ご家庭でも、これまで通り、お子様のこの1年の頑張りや成長を見つめ、大いに励ましてあげてください。地域の皆さんも通学路で、あいさつや声掛けをしてくださっています。もし、「大丈夫かな？」と心配している子がいたら勇気を出して何でも相談してほしいと思います。中尾小学校には、話を聴いてくれる友達や先生方、地域の人たちがいます。普段、中尾っ子を見ている校長として、私も、次の言葉を掛けたいと思います。

「大丈夫！きょうまくいく。君の中には、生まれながらの素敵な力がある。君は一人じゃない」

さて、この3年間は、コロナ感染拡大の対応で、学校生活も大きく変わりましたが、教育活動も少しずつ、元に戻りつつあります。様々な対応を通し、「当たり前だと思っていたことが、当たり前ではないことの有難さ」そして何よりも、「学校は、家庭や地域の協力や励ましに支えられながら、家庭・地域と共に成長していく」ということに改めて気付かされ、感謝する次第です。皆様には、この1年間も、大変にお世話になりました。

中尾小学校は、45周年に向かって、「すべては、子どもたちのために」との原点を忘れず、さらに進んでまいります。これからも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。